



鶴見区



DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和2年10月1日	【区の人口】	282,995人
【区の世帯数】	131,728	【面積】	32.38km ²
【区の花】	サルビア	【区の木】	サルスベリ

地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策を地域や家庭で推進していただくため、出張エコ教室を年4回開催しました。また、地域の各種イベントにて、緑のカーテンの種の配布、電力消費量等測定機器の貸出をお知らせ、家庭での省エネに関するアンケートの実施等、地球温暖化対策に係るPRを行いました。



緑のカーテン種配布

京浜の森づくり事業

京浜地区(鶴見区、神奈川区の臨海部)において、事業者・市民との協働により、企業の緑地や公共の緑・水辺での緑の創造・拡充に取り組みました。

また、未広町の横浜サイエンスフロンティア地区では、フラワーロード事業として区が整備した道路の植栽帯について、草刈等の日常管理を地元企業に担っていただきました。



市民協働による緑の創造

スリム 3R夢 出前教室

ごみの減量・リサイクルの意識を高め、地球温暖化問題について学ぶ出前講座を、保育園(8園)、小学校(2校)で実施しました。



3R夢出前教室

スリム 3R夢 土づくり講習会

生ごみの減量化・資源化を目的とした取組から、地域ボランティアの協力を得て、土壌混合法による土づくり講習会を毎月2回実施しました。



土づくり講習会

鶴見クリーンキャンペーン 2014

区内の自治会・町内会、企業、各種団体等に年2回春と秋に清掃活動呼びかけ、ごみ袋・軍手の配布や、ごみの収集などの活動支援を実施しました。



鶴見クリーンキャンペーン



神奈川区

DATA (平成27年4月1日)			
【設置年月日】	昭和2年10月1日	【区の人口】	236,564人
【区の世帯数】	118,012	【面積】	23.59km ²
【区の花】	チューリップ	【区の木】	コブシ

かながわエコスクラム事業

神奈川区では、区民・事業者・区役所の三者の協働（＝スクラム）で、地球温暖化対策の取組を進めています。

・エコ活啓発事業

区民の方向けに地球温暖化に関する講座を実施しました。

・緑化推進事業

区内の公共公益施設でゴーヤ、アサガオの「緑のカーテン」を実施し、地域への普及啓発として9月に「緑のカーテン写真コンテスト」を開催しました。区役所で収穫したゴーヤは、食堂や地域と協働で開催する料理教室の食材として活用しました。

また、区内の障害者地域作業所や区内農家、ヘルスマイト（食生活改善推進員）等と協力して区役所で地場野菜の販売を行い、区役所食堂では地場野菜を使用したメニューを提供し地産地消を推進しました（平成26年5月～7月、10月～12月）。



区民向け地球温暖化対策講座



緑のカーテン

環境にやさしいイベントの実施

かながわ湊フェスタ（5月）、神奈川区民まつり（10月）において、主催者の協力によりリユース食器を使用し、ごみ量を大幅に削減しました。区民まつりでは実行委員会による1tのカーボンオフセットを実施し、CO₂を削減しました。



イベントでのリユース食器活用

横浜FCとの協働事業

神奈川区はニッパツ三ツ沢球技場をホームスタジアムとする横浜FCとエコパートナー協定を結んでいます。

6月に「横浜FCかながわ区民DAY」を開催し、区内産野菜を使った「神奈川区コラボメニュー」販売などを行いました。また、8月は「エコパートナーDAY」に出展し、スタジアム内での飲料販売にリユースカップを導入しました。

両日とも、入場者数に応じたカーボンオフセット（試合に勝ったらオフセットを区民DAY2倍、エコパートナーDAY4倍）を実施しています（当日入場者数とCO₂オフセット量区民DAY：6,097人、6,097kg（引分け試合）相当、エコパートナーDAY：3,912人、15,684kg相当）。



西区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和 19年 4月 1日	【区の人口】	97,712人
【区の世帯数】	51,347	【面積】	6.98km ²
【区の花】	スイセン	【区の木】	モクセイ

西区打ち水大作戦 2014

区内小中学校、西地区センター・西公会堂、藤棚地区センターの公共施設等での実施のほか、横浜駅西口・東口において、事業者の皆さんや保育園児とともに打ち水を行いました(7月~8月)。

また、地域や企業が自主的に打ち水に取り組めるよう、ひしゃく等の物品を貸し出すなどの支援を行いました。



横浜駅前での打ち水

脱温暖化行動の普及啓発

照明を消すことで、日頃いかに電気を使用しているかを実感し、地球温暖化問題について考えていただくことを目的に、「西区ライトダウンキャンペーン2014」を開催しました。七夕には横浜駅周辺を中心に10分間の一斉ライトダウンを行いました。

また、企業や商店とタイアップしたリデュースキャンペーンで、エコバックの活用を呼びかけるなど、区民に対する幅広い啓発活動に取り組みました。

さらに、6月の環境月間に合わせて区内動物園と連携し、生物多様性に関する展示を区役所で行い、来庁した区民や区役所職員の生物多様性への理解を深めました。



リデュースキャンペーン

環境学習の実施

子どものうちから環境に対する関心を高めてもらうため、保育園や小中学校と協力して、「こどもエコ劇場」、「西区もったいない探偵団」、「小・中学校出前講座」、環境パフォーマーによる「中学校環境講座」など、それぞれの世代にあった教材を活用した環境学習を行いました。



中学校環境講座

緑化の推進・普及啓発

区役所をはじめとした公共施設で緑のカーテンを育成したほか、まちかど花壇や公園で、区民との協働による花植えに取り組みました。



区民との協働による花植え



中区



DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和2年10月1日	【区の人口】	148,100人
【区の世帯数】	78,049	【面積】	20.85km ²
【区の花】	チューリップ		

中区エコカー体験教室

地球温暖化対策を推進する中区の企業との協働により、環境にやさしい電気自動車や低公害車のほか、安全技術を搭載した自動車の試乗などを体験する教室を開催しました。



エコカー体験教室

「花緑のカーテン」の推進

建物への日差しを遮るとともに、葉から出る水蒸気で涼しい風を室内に呼び込み、冷房の使用を抑制する効果がある緑のカーテンに、花を咲かせる植物を用いた「花緑のカーテン」を、公共施設等4か所に設置しました。



花緑のカーテン

ごみの分別の促進

地域や学校で開催される各種イベント会場で分別を促進するため、分別ごみ箱の無料貸し出しを実施しました(12イベント)。また区内の日本語学校等で、外国人向け分別講座を開催しました(6回)。



イベントでのごみ分別促進

中区クリーンアップDAY2014

平成19年度から行っている清掃活動を、スタート地点の桜木町駅からゴール地点の山下公園までの14コースで5月10日に実施しました。市民・事業者・ボランティア団体・行政を合わせて370名が参加しました。



中区クリーンアップ DAY

中区スリム3R夢推進大会

3月4日に開港記念会館講堂において、中区のスリム3R夢行動の推進や、まちの美化運動に功績のあった方々に中区長から感謝状を贈呈しました(個人の表彰:14名、団体の表彰:14団体)。

また、第二部では資源循環局資源政策課より「減らそう!食べ物のもったいない~食品ロス・手つかず食品削減のためにできること~」について講演がありました。



中区3R夢推進大会



南区



DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和 18年 12月 1日	【区の人口】	194,352 人
【区の世帯数】	94,609	【面積】	12.63km ²
【区の花】	サクラ		

温暖化対策に関する普及啓発事業

子どもたちが地球温暖化問題について興味を持つ機会を提供するため、区内小学生を対象とした普及啓発イベントを実施しました。

8月には、夏休みに小学生を対象にキッズエコ講座として工作教室(19人参加)、バスツアー(31人参加)を実施しました。



温暖化対策普及啓発

緑のカーテン事業

学校、保育園、その他公共施設(75施設)へ栽培物品を提供しました。また、自主的に栽培講座を開催する区民グループ(80名)に対し、種や栽培テキスト等の配付による支援を行いました。



緑のカーテン

芝生・芝桜緑化事業

緑化環境が整う、子どもたちが転んでもケガをしにくくなる、砂ぼこりが防げるなど、様々な効果がある芝生緑化(3小学校で223m²)を実施しました。

また、区の花「さくら」の普及花である芝桜による緑化(14小・中学校)も実施しました。



芝生による緑化

スリム 3R夢プランの推進 (環境出前教室・各種啓発活動の実施)

多くの区民の皆様へ、ごみの発生抑制や分別・リサイクル行動を実行していただくため、区内商店街・スーパーと連携したキャンペーンを54回実施しました。また、小学校・保育園・幼稚園等での環境学習、地域に出向いた出前講座を53回実施しました。



出前教室



港南区



DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和 44年10月 1日	【区の人口】	216,000人
【区の世帯数】	90,777	【面積】	19.86km ²
【区の花】	ヒマワリ、アジサイ、キキョウ	【区の鳥】	シジュウカラ
		【区の木】	クロガネモチ

地球温暖化対策の推進

○廃食油回収によるカーボン・オフセットに挑戦!

「こうなん子どもゆめワールド」で、横浜市地球温暖化対策推進協議会と連携し、廃食油回収によるカーボン・オフセットに挑戦しました。当日の回収量は210ℓに上り、回収した廃食油を燃料として再利用することで得られる二酸化炭素の削減効果は569kgとなりました。

○区内事業者と連携した環境絵日記展の開催

2月に京急百貨店において、横浜市資源リサイクル事業協同組合が主催している「環境絵日記」の区内受賞作品を展示する『環境絵日記展』を開催しました。



廃食油回収



環境絵日記展

緑化の取組

公園愛護会花き園芸部が育苗したゴーヤの苗を使用し、保育園や小学校(計37施設)で緑のカーテンを育成しました。また、区民向けの緑のカーテン講習会を2回開催し、各家庭での取組を推進しました。



緑のカーテン講習

エコ・クッキング教室を開催

エコ・クッキング教室「港南区産の旬野菜でエコ・クッキング教室」を開催し、区内農家さんと東京ガスエコモ(株)のご協力により、区内農業の紹介とともに区産野菜を使用したエコ料理づくり体験を行いました。



エコ・クッキング教室

直売会・農体験の開催

夏野菜の時期に区内農家さんが交代制で出品する港南区産野菜の直売会「ビタミン満菜市」や、1年を通じて農作業や収穫物を活用した交流会を実施する農体験「ビタミン満菜農園」を開催しました。



港南区産野菜の直売会「ビタミン満菜市」

スリム 3R夢プラン推進とごみの分別普及啓発活動

ごみと資源物の分別の大切さを理解していただくため、自治会町内会でスリム3R夢プランの説明会(年16回)、小学校などで出前教室(年35回)、地域イベントでの啓発活動(年16回)などを行いました。

河川のクリーンアップ

地域主体で川の清掃を行い、子どもたちも含め地域住民が地元の川を綺麗にする意識をもって、自然の大切さを学ぶ良い機会になります(3河川で5回実施、2,000名以上が参加)。



河川のクリーンアップ



保土ヶ谷区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和2年10月1日	【区の人口】	204,599人
【区の世帯数】	92,156	【面積】	21.81km ²
【区の花】	スマレ	【区の木】	シイノキ、ハナモモ
【区の鳥】	カルガモ		

「ヨコハマ^{スリム}3R夢」プランの推進

ごみの分別とリサイクルだけでなく、ごみそのものを減らすリデュース（発生抑制）について、地域や資源循環局と連携を図り、積極的に取り組みました。

たとえば区内の商業施設でレジ袋・紙袋・包装紙等の容器包装の減量・リサイクルの推進を目的とした店頭啓発や、食品ロスを減らすため、地域の子育てサークルで講習を行うなど啓発活動を実施しました。



3R 夢啓発活動

花と緑のあふれるまちづくりの推進

ほどがや花憲章に基づき、「花の街ほどがや」を推進・PRするイベント「ほどがや花フェスタ2014」を5月に開催しました。

また保土ヶ谷区内の小・中学生を対象に、地域環境美化の推進をテーマとした「清潔で、きれいな街ほどがや」ポスター展を実施し、更に花に触れ親しんでいただく「季節の花の寄せ植え教室・土壌混合法講習」など、様々なイベントを開催しました。



ほどがや花フェスタ 2014

ほどがやエコ活。推進事業の展開

地域資源である帷子川を活用したイベント「ほどがや川フェスタ」を開催し、身近な自然に触れることによって、環境や温暖化対策について考えるきっかけづくりを行いました。

また、農家を巡って地産地消を学ぶ講座や、企業の協力を得てエコな調理方法を学ぶ講座も実施しました。



ほどがや川フェスタ

ほどがや☆元気村

保土ヶ谷区に残る唯一の水田という貴重な地域資源を活用した区民の交流の場「ほどがや☆元気村」において、区民の企画・運営による子どもたち向けの1年間の農体験講座を実施しました（平成21年4月開村）。



農体験講座



旭区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和44年10月1日	【区の人口】	247,413人
【区の世帯数】	102,996	【面積】	32.78km ²
【区の花】	アサガオ	【区の木】	ドウダンツツジ
【区の昆虫】	ホタル		

ホタルの舞う里づくり・帷子川環境学習

旭区の昆虫であるホタルの舞う里づくりを目指して、小学校や地域でホタルの飼育や放流を行うとともに、環境整備に取り組んでいます。また、子ども達が区の流れる帷子川に対して愛着を深め、ふるさとの環境に対して関心を持つきっかけとなるように、「NPO法人子ども自然公園どろんこクラブ」や「公益社団法人保土ヶ谷法人会旭支部連合会」と協働して、帷子川環境学習を小学校7校で開催しました。



帷子川環境学習

地球温暖化対策・ヒートアイランド緩和に向けた啓発活動

ゴーヤなどつる性の植物を育てて、夏の暑さや日差しを遮る緑のカーテンづくりに、区役所主催の「緑のカーテン栽培講座」を受講された205名の区民の皆様、小中学校・保育園等47か所、区役所が取り組みました。

また、小学校や地域に出向いて、身近に取り組める省エネをテーマにした出前講座(全8回、参加者約630人)を実施しました。さらに、小学生らが出前講座で学んだ内容をもとに制作した絵や作文などの作品作りに取り組んでもらうことで、身近な環境行動「エコ活。」を呼びかけました。



省エネをテーマにした出前講座

資源の有効活用方法の紹介

毎月第2・4水曜日に区役所1階情報発信コーナーで土壌混合法の実演を行いました。土壌混合法とは、生ごみと土を混ぜ合わせ、土の中の微生物の力を借りて生ごみを分解し、土を栄養分豊かなものに変える方法で、生ごみのリサイクルにつながります。これとは別に、区民まつりや地区センター等でも実演を行いました(全33回実施)。



土壌混合法実演

省エネルギー化への取組

自治会・町内会が維持管理を行っている蛍光灯タイプの防犯灯を、エネルギー効率と耐久性に優れたLEDタイプの防犯灯に変更するために必要な経費の一部を補助(15灯)しました。



磯子区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和2年10月1日	【区の人口】	164,337人
【区の世帯数】	73,304	【面積】	19.02km ²
【区の花】	コスモス	【区の木】	ウメ

「ヨコハマ3R夢!プラン」推進の取組

・区民ボランティアとの協働による啓発活動

【3Rマーケットやリユース家具市の開催】

リユース(再使用)を実践するイベントとして、区民ボランティア「磯子区3R応援隊」と協働し、使えるけれど必要のなくなった品物を必要な人に提供する「3Rマーケット」を開催しました(6月7日(は雨天中止、11月3日))。

また、3Rマーケット開催日の午前中には、同会場内で「リユース家具市」を開催し、更にリユースを意識していただく機会となりました。

【子育て世代や次世代に向けた3Rの啓発】

今まで啓発を行う機会が少なかった世代に対し、子育て拠点や乳幼児健診時に啓発を行いました(年73回)。

また、次世代へ向けての啓発として、小学校、保育園・幼稚園に出張し、ごみの分別とリサイクルの大切さを理解してもらうため「紙芝居」、「寸劇」、「紙すき」や「分別釣堀ゲーム」を行いました(年39回)。

・区内事業者との協働による環境映画会の開催

広く区民に資源物を有効利用することの大切さを知っていただくために、(株)東芝と協働し、「環境映画会」を開催しました。当日は3Rの講義や、磯子マモルンジャーと一緒にごみの分別・リデュースや地球温暖化防止に関する内容を盛り込んだ「いそごエコ体操」も行いました(6月21日、87人)。



リユース家具市



出前教室



企業との協働による環境映画会

「いそごECOアクション」推進の取組(地域主体の脱温暖化・環境行動)

・いそご打ち水応援プロジェクト

打ち水の普及のため、区内の団体に打ち水セット(桶、ひしゃく、温度計)の貸出しを行いました。また、職員による「打ち水応援隊」を組織し、希望する団体の打ち水を支援しました(7~8月、8回)。

・グリーンカーテン育成支援

小中学校、保育園、幼稚園等、公共施設57施設で緑のカーテンを育成しました。また、区内3か所(区役所、根岸地区センター、洋光台CCラボ)でゴーヤの苗600鉢を無料配付しました。

・グリーンカーテンパネル展、表彰式の開催

家庭・事業所・教育機関を対象にグリーンカーテンのお写真を募集し、区役所でパネル展を開催しました。また、パネル展に応募のあった作品の中から、出来栄が優秀な方々を表彰しました。(応募計42件)

・いそご子どもエコフェスタ2014の開催

「来て見て触れてエコを楽しもう♪」をテーマに、楽しみながらエコを学べる「いそご子どもエコフェスタ2014」を開催しました。区内の環境団体やNPO、環境活動を行う企業等が一堂に集まり、ステージイベントやパネル展、工作教室や体験ブースを通して環境への意識を共有しました(12月、参加者1,500人)。



打ち水



緑のカーテン



苗木の配布



いそご子どもエコフェスタ 2014



金沢区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和 23年 5月 15日	【区の人口】	202,646人
【区の世帯数】	87,699	【面積】	30.68km ²
【区の花】	ボタン	【区の木】	ヤマザクラ

公園愛護会 緑の環境リーダーの活動支援

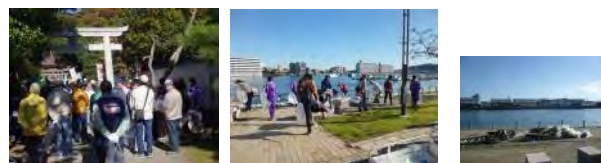
区内の公園愛護会の情報共有と活動を推進するため、区民からなる「緑の環境リーダー会」を結成し、その活動を包括的に支援しています。平成26年度は、種から育てた約14,000株の花苗を各公園の花壇に植えました。



公園愛護会「緑の環境リーダー」の活動

平潟湾クリーンアップキャンペーンの実施

地域との協働で平潟湾のかけがえのない自然を保存するため、平潟湾の海上や湾岸の清掃活動を行いました（11月15日実施、150人参加）。



平潟湾クリーンアップキャンペーン

「食品ロス」・「マイバッグ」等の普及・啓発

区内の大型店舗で「食品ロス」食べ残し食材の削減や「マイバッグ」によりレジ袋の使用削減を推進するイベントを行い、リデュースに対する意識を高めました（6月21日、10月15日・11月12日実施）。



大型店舗での普及啓発

区民まつりでの啓発

金沢まつりいきいきフェスタで「クラフトキットづくり」と「生物多様性クイズ」を実施しました。自然環境の大切さや生物多様性について楽しみながら学びました（10月17日実施、321人参加）。



市民協働による緑の創造

実感して見隊

エコ探検ツアー in 金沢 の開催

地域、家庭、学校で環境やエコを考え、実践できる人材の育成を目的として、親子で金沢区内にある環境関連施設(金沢動物園、海洋開発研究機構地球情報館)の見学会を実施しました（8月8日実施、20人参加）。



エコ探検ツアー in 金沢

横浜つながりの森ウォーキングの開催

六国峠ハイキングコース（金沢文庫駅～金沢自然公園、約5km）の散策、金沢動物園で象のバックヤード見学や餌やりを行うウォーキングイベントを開催し、横浜つながりの森を身近に感じるとともに自然に触れ合いました（12月7日実施、16人参加）。



横浜つながりの森ウォーキング



港北区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和 14年 4月 1日	【区の人口】	342,362人
【区の世帯数】	162,966	【面積】	31.37km ²
【区の花】	ウメ	【区の木】	ハナミズキ

港北水と緑の学校

鶴見川を活用した環境学習講座を平成16年度から実施しています。講座は小学生を中心に、鶴見川での魚とりや生きもの観察、水質調査、自然観察などを行っています。

小学校での環境学習講座(全17回)を実施し、延べ1,720人が参加しました。また、学習成果を区内大型商業施設等での展示会(2回)で公開しました。



港北水と緑の学校 環境学習講座

直売所の実施の支援

区内の地域ケアプラザでの地元野菜の直売所の実施を支援しました(全6回)。



直売所(高田地域ケアプラザ)

屋上庭園運営事業

港北区役所及び太尾小学校の屋上庭園部分の維持管理を区民と連携して実施しています。



屋上庭園(港北区役所)での活動

港北オープンガーデン

個人のお庭や、街の花壇を巡る中で、花と緑を通して区の魅力を再発見し、地域への愛着を深め、交流を促進することを目的として平成25年の春から実施しています。



港北オープンガーデン

3R行動の推進【ヨコハマ ^{スリム} 3R夢プラン】

ごみの分別や発生抑制といった「3R行動」を推進するため、区民まつりや地域イベント等で、ヨコハマ3R夢プランの普及・啓発活動を行いました。

毎日の生活の中でのごみを減らす工夫として、「ごみと資源物の分別の徹底」、「生ごみの水切り」、「手つかず食品廃棄物の削減」などの啓発を実施しています。



イベントでの啓発活動(日産スタジアム)



緑区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和44年10月1日	【区の人口】	179,697人
【区の世帯数】	74,057	【面積】	25.42km ²
【区の花】	シラン	【区の木】	カエデ

地球環境にやさしい暮らし

区民・事業者・行政が連携して3Rや地球温暖化防止に向けた様々な取組を実施しました。

・エコ講座

省エネなどの脱地球温暖化行動を学んでもらうために、市民団体と連携して親子を対象とした節電・省エネに関する実験や市内産食材を使った料理教室等のエコ講座（6回）を実施しました。

・環境家計簿の広報

広報よこはまみどり区版（7月号）に環境家計簿を掲載し、広く区民の皆様を取組を呼びかけました。

・エコすごろく

脱地球温暖化行動を楽しく学べるエコすごろくを作成し、広報よこはまみどり区版（1月号）に掲載し、巨大エコすごろくを区内スーパーで開催したエコイベントで実施しました。



市内産食材の利用



エコすごろく

店舗における啓発の実施

スーパーマーケット等と連携して、不要なレジ袋等の容器包装削減など、3R行動や脱地球温暖化行動を啓発するキャンペーンを6回実施しました。また、緑区庁舎内の地場野菜の直売所にて7月と11月に随時啓発物品の配布を行いました。



店舗での3R普及啓発

ヨコハマ3R夢プラン出前講座の実施

保育園・幼稚園、小中学校等と連携し、キャラクターを利用した人形劇など、年齢に合わせた環境教室を15回実施しました。



3R夢出前講座

地産地消の推進

区庁舎内で週に1～2回、地場野菜の直売所を開催しました。また、JA横浜と共催で、緑区庁舎で、地元農家による地場野菜の直売会を6回実施しました。



地場野菜の直売会

スマートイルミネーション新治

省エネルギー技術とアートを融合させるライトアップイベントを新治里山公園で実施しました。



スマートイルミネーション新治



青葉区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	平成 6年 11月 6日	【区の人口】	308,788 人
【区の世帯数】	125,046	【面積】	35.06km ²
【区の花】	ナシ	【区の木】	ヤマザクラ

区民とともに進める脱温暖化行動の推進

環境に関する講座「クールアース講座」を4回開催しました。使用済み天ぷら油を使ったキャンドル作りやエコ・デイキャンプ、フードマイレージの削減につながる地産地消講座、エコ体験講座など、それぞれ特色のある講座を開きました。

家庭での電気使用量やCO₂排出量を測定する「省エネナビ」機器を公募した区民モニターに貸し出し、脱温暖化行動を促進しました。



エコ・デイキャンプ

スリム 3R夢推進事業

ごみの分別や減量のため、地域での説明会や小学校等における3R夢前教室を開催するとともに、区役所1階区民ホールでは、分別相談窓口を常設しました。また、商業施設等で食品ロス削減を呼びかけるキャンペーンを、年間通して実施しました。

生ごみを活用した「生ごみたい肥化講習会」を26年度も開催し、EM菌を活用した講習会を年4回(約40名参加)実施した他、親子の3R施設見学会を7月に実施し19組38名が参加しました。

このようにごみの減量化、分別・リサイクル、3Rの推進のため、各種イベントや啓発活動を積極的に行い、一人1日あたりの燃やすごみの排出量は目標と同じ405グラムとなりました。これを年間の燃やすごみの量にすると88トン削減したことになります。

“きれいな街青葉”を目指すため、放置自動車・不法投棄対策会議を定期的で開催し、関係機関と連携を密に図り早期発見・早期撤去に取り組みました。

また、ポイ捨て禁止の周知を図るため、毎月駅頭にて早朝啓発を実施しました。



3R夢普及啓発

花と緑があふれる街事業

花と緑があふれ潤いのある街づくりを進めるため、緑化ボランティア「あおば花と緑のサポーター」への花苗提供等の支援や、ボランティアの育成、活動場所の充実等に取り組みました。

(写真：青葉区制20周年を記念して制作した花壇)



青葉区制 20 周年を記念して制作した花壇



都筑区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	平成 6年 11月 6日	【区の人口】	210,865 人
【区の世帯数】	80,203	【面積】	27.88km ²
【区の花】	サクラソウ		
【区の木】	(里山の木) ヤマモミジ、ヤマザクラ、コナラ、シデ (人里の木) サルスベリ、モクセイ、ウメ		

環境映画上映会の実施

平成27年2月に区内小中学生と保護者を主な対象とし、地球温暖化をテーマにした映画の上映会、東京都市大学と協力した講座を開催しました。あわせて、間伐材を活用したキーホルダーを作るワークショップを実施しました。



東京都市大学との協働による環境映画上映会

電気自動車の電力活用

公用車として所有している電気自動車に蓄えられている電力を有効利用するための電源供給装置について、災害用としてだけでなく、各イベント等で積極的な活用をしてもらえよう呼びかけました。



電気自動車の電力活用に関する啓発

区庁舎を活用した環境啓発

都筑区総合庁舎内の壁面等(1、2階男女トイレ)を活用し、区民向けに、ラッピングシールによる、輸送に伴うCO2排出削減につながる地産地消の推進や家電による省エネの啓発を行いました。



区庁舎壁面を活用した省エネ啓発

電力使用量測定器貸出

家庭での節電対策や省エネ対策に役立ててもらうため、家電の電気料金、使用電力量、CO₂排出量などを簡単に計測することができる電力使用量測定器の貸出を6月から延べ23回行いました。

いただきます！都筑野菜

地産地消を進めるために毎月第2、第4土曜日に都筑区総合庁舎で都筑野菜朝市を定期開催しました。また、6月には区内大型商業施設において拡大開催しました。



都筑野菜朝市

不要図書の再利用「リユースつづき」

多く子どもたちに環境をまもる意識を持ってもらえるよう、図書ボランティア「つづきっこ読書応援団」と協働して、家庭で不要になったこども向け図書を募り、^{スリ}3R^夢のメッセージシールを付けて区内12施設に、合計1,832冊を配付しました。



「リユースつづき」



戸塚区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和 14年4月 1日	【区の人口】	274,583 人
【区の世帯数】	113,138	【面積】	35.70km ²
【区の花】	桜		

地球温暖化対策の推進

戸塚区では、区民の皆さまと行政がともに力を合わせて温暖化対策を推進しています。

『とつかエコライフ事業』

・環境啓発パネル展の開催

関係団体や関係局の取組をパネルやチラシ等で紹介し、温暖化対策の啓発を実施しました。

期間：6月11日～6月30日 / 会場：戸塚区総合庁舎 3階区民広間



環境啓発イベント「とつかエコフェスタ」

・とつかエコフェスタの開催

「来て見て作ってエコを体験しよう!!」をテーマに様々な体験メニューを通して、身近な自然や地球のすばらしさを感じてもらい、地球温暖化対策について理解を深めてもらう子ども向け環境啓発イベントを実施しました(延べ参加人数：1,763人)。

日時：11月29日 / 会場：戸塚区総合庁舎 3階区民広間、多目的スペース

・カーボン・オフセット啓発事業

地域イベントにおけるカーボン・オフセットの取組を支援するため、24年度に補助金を創設し、区民の皆様に普及啓発を図りました。26年度は、5団体がカーボン・オフセットに取り組み、温暖化対策だけでなく地域イベントの活性化にも繋がりました(CO₂削減量：5 t)。

・地域イベントにおけるエコ啓発

「上矢部まちづくりの会」が主催するAQUAフェスタに、区エコ啓発ブースを出展し、温暖化対策の普及啓発を実施しました(参加者数：約420人)。

日時：9月28日 / 会場：阿久和川周辺

環境未来都市間交流事業

環境未来都市間交流を企業等に拡大し、地域活性化を図るために、交流協定を締結している北海道下川町との交流を通じて各企業にエコ活動の参考としていただきました。

日程：8月20日～8月22日 / 参加数：7社7人



北海道下川町との交流

3R夢推進事業

・分別説明会の開催

ごみの減量・リサイクル意識を高めるため明治学院大学の新生を対象にごみの分別説明会を開催しました。また、横浜市の分別を理解してもらうため、引っ越しが多い時期に区役所にてごみの分別説明会を行ないました。

・戸塚ふれあい区民まつり

ごみの減量化を目指し、模擬店ブースにおいてリユース食器を導入しました(回収率：99.1%(市内1位))。

・花の小道

街の美化・緑化のため、戸塚小学校前の歩道に設置したプランターの花の植え替えを戸塚小学校の児童及び地域のボランティアの方と連携して実施しました。



大学新生を対象とした分別説明会



栄区 栄

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和61年 11月 3日	【区の人口】	121,912 人
【区の世帯数】	51,061	【面積】	18.55km ²
【区の花】	キク		

「森へ行こう」をテーマとしたイベント展開

栄区の自然豊かな環境を守り育てる区民のつながりを目指し、環境学習イベントを開催しました。

- 1 富良野自然塾「46億年・地球の道」(8月 108人)
- 2 区民まつり「葉っぱのアート展」など(11月 約3,000人)
- 3 熱気球搭乗イベント(11月 922人)
- 4 富良野自然塾×天体観測(2月 82人)
- 5 SAKAEヤングフェスティバル「枯葉のお面づくり」(3月 約100人)



「森へ行こう」イベント

「さかえグリーンサポーター制度」による環境教育の推進

「さかえグリーンサポーター」とは、愛護会等と企業、学校とをつなぎ、団体同士と一緒に緑のサポート活動を行うための栄区独自の制度です。団体同士が新たなつながりを作ることにより、環境教育やCSR活動として新たな取組を提案・実施してきました。平成26年度は、竹林の間伐や田植え活動など合計7回の活動が行われました。



田植え活動

地産地消の推進

栄区の豊かな自然を生かし、区民が健康的で健全な生活を送るため、連合町内会、JA、各種団体等で構成する実行委員会を設置(4月)して、食と農のある豊かなライフスタイルを提案しました。

- 1 本郷台アオソラマルシェの開催(7月 約 3,000 人)
- 2 小泉武夫氏による食と農をテーマにした講演会(2月 228 人)
- 3 食生活等改善推進員(ヘルスマイト)による各種講座の実施
 - ・妊婦や小さいお子さんをお持ちの方向けの活動
 - ・健康を意識した食生活や栄養などの学びの場など



地産地消の推進

ダンボールで生ごみリサイクル事業

生ごみの削減に向けて、誰でも手軽に取り組める「ダンボールコンポスト」のモニターを募集し、生ごみ堆肥化の取組を推進しました。(モニター数: 235人) また、生成された堆肥は家庭菜園や公共用地の花壇などに活用しました。



ダンボールコンポスト

生ごみを活用した元気野菜プロジェクト

生ごみの堆肥化を区民に広めるため、「元気野菜づくり講演会」(参加者数: 約180人)を開催しました。また、生ごみを利用した「土づくり体験会」(実施回数: 2回、参加者数: 合計約70人)や、保育園での土づくり出張教室(実施: 6園、参加者数: 合計309人)を実施しました。



元気野菜プロジェクト



泉区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和 61年 11月 3日	【区の人口】	154,192人
【区の世帯数】	61,103	【面積】	23.56km ²
【区の花】	あやめ		
【区の木】	サクラ、ハナミズキ、キンモクセイ、アジサイ、モミジ、コムラサキ		

緑のじゅうたん

ヒートアイランド現象の緩和や子どもの健全育成を目的として、区内各校の芝生の維持管理を実施しました。



緑のじゅうたん

菜の花の播種

和泉川の和泉川遊水地（延長340m）と鍋屋橋下流（延長300m）の遊歩道において、水辺愛護会の方との協働により菜の花の播種を行いました。

菜の花は3月末から4月にかけて桜とともに開花し、川沿いは水と緑を感じながら散策できる観光スポットになっています。



菜の花の播種

緑のカーテン

アサガオやゴーヤなどツル性植物による「緑のカーテン」推進のため、種の配布を行ったほか、緑のカーテンコンテストを開催し写真展や入賞者の表彰を行いました。



緑のカーテンコンテスト表彰式

3 R 夢スクール

小学校や保育園の児童、園児を対象に、ごみの減量化やリサイクルについて楽しく学んでもらい、環境について考える「3 R 夢スクール」を開催しました。



3 R 夢スクール

泉区農業応援隊の活動支援

高齢化や担い手不足に悩む農家への区民による援農ボランティアの活動を支援しました（会議運営や応援調整の支援等）。



泉区農業応援隊



瀬谷区

DATA (平成 27年 4月 1日)			
【設置年月日】	昭和 44年10月 1日	【区の人口】	125,053 人
【区の世帯数】	50,725	【面積】	17.11km ²
【区の花】	アジサイ	【区の木】	ケヤキ
【区の鳥】	オナガ		

身近でできる温暖化防止行動の普及

・緑のカーテンの普及啓発

区民ボランティアが育成したゴーヤ苗を使用し、保育園や小学校、自治会館などで緑のカーテンを実施しました。また、区民向けの緑のカーテン講習会を開催し、各家庭での取組を推進しました。

・「生ごみを土にかえそう」土壌混合法普及啓発

一般区民を対象に土壌混合法講習会を開催することで、各家庭での取り組みを推進しました。



土壌混合法講習会の様子

瀬谷区版クールシェアの実施

夏場に涼しく過ごせる場所を皆で共有しようという考え方(クールシェア)と共に、区内公共施設の利用や読書活動を推進しました。



瀬谷区版クールシェアチラシ

商店街と連携した環境行動の促進

多くの区民が集まる商店街の夏祭りとあわせて、打ち水イベントや氷の彫像の展示を実施し、商店街の活性化をはかるとともに、身近な環境活動を推進しました。

環境と人・地域社会

・せやキッズあいごかい、中学校ボランティア体験

小学校が中心ですが養護学校の生徒さんも参加して公園愛護会と連携し、公園の利用マナー等の学習や美化清掃等のボランティア活動を体験しました。また、中学3年生も卒業記念ボランティアとして毎年、公園愛護会と共に公園の清掃活動等を行っていただいています。

・せやっこ農体験

地元農家及びJA横浜青壮年部、瀬谷区青少年指導員連絡協議会の協力により、区内小中学生を対象とした農作業体験(米、野菜)を実施し、自然や農業の大切さを身近に感じてもらいました。



せやキッズあいごかい



せやっこ農体験